第 13 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2013 in 舞浜
優秀演題選考委員会　演題査読手順

1. 選考委員長は登録された全演題の抄録を当年度会議代表より入手し、演者名・所属などをマスキングした上で、各選考委員に担当する抄録を提供する。

2. 以下の基準に基づいて、査読し、判定する。

   〔査読基準〕

   □ 演題名と内容、カテゴリーが一致しているか。
   □ 倫理的、社会的に問題ないか。
   □ 科学的に許容できる範囲か。
   □ 治験依頼者等との守秘義務に関わるような内容の場合、了承を得ているか。

   〔判定基準と対応〕

   □ 問題なし**⇒受理する。**
   □ 一部問題があるが、修正により発表可能（修正点：　　）
   ⇒修正依頼し、改善された場合には受理。改善されない場合には受理しない。
   □ 発表不可（理由　　）
   ⇒不可の理由を提示し、受理しない。
   □ カテゴリーの変更が必要（　　→　　）
   ⇒カテゴリーの変更を連絡する。

3. 各選考委員は査読結果を所定の用紙に記載し、査読期限までに選考委員長に提出する。

4. 一演題について、選考委員 2 名で評価し、選考委員の意見が分かれた場合には選考委員長を含めて 3 名で検討する。

5. 選考委員長はすべての査読結果を当年度会議代表に報告し、発表不可、修正及びカテゴリーの変更を必要とする演題については、CRC あり方会議より登録者に通知する。

6. 修正を必要とする演題の登録者より、修正がなされて提出された場合には、選考委員長及び当該演題担当の選考委員 2 名が修正内容を確認し、修正が適切であれば受理する。

7. 当年度会議代表は、全演題の抄録を選考委員会に提供後、査読終了までに少なくとも 1 か月の期限を確保する。

8. 査読作業が全て終了した時点で、選考委員は入手した抄録を適正に廃棄する。

9. その他問題のある場合には、選考委員の意見を参考に選考委員長と当年度会議代表で協議して適正に対処する。

2013 年 2 月 6 日初版作成